

新藤信夫市政ニュース

平成29年3月
Vol.25
発行 自民党真政さいたま市議団大宮区西支部
TEL 647-7713
FAX 647-7726



平成29年度予算可決

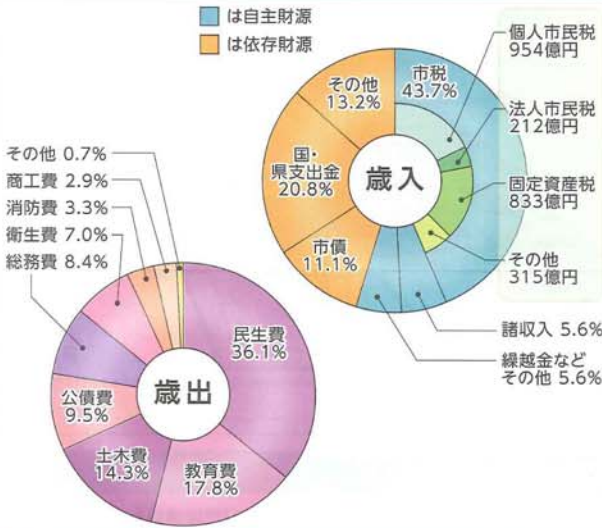
新藤信夫

3月17日の市議会本会議において、平成29年度予算案が可決しました。
一般会計の総額は、前年度に比べ61億円増（平成28年度当初予算比13.0%増）の530.1億円となり、2年連続で増額となりました。

平成29年度予算の特徴としては、子育てしやすい環境整備、質の高い教育の提供、健康で充実した生活を送るための超高齢社会への対応、安全で安心して暮らせるまちづくり等の施策に重点分配するほか、新設小・中学校、子ども総合センターの新設、大宮駅・浦和駅周辺の市街地再開発事業など、さいたま市の将来を見据えしあわせ実感都市の実現に向けた事業への積極的な投資的な予算としていきます。特に、国においてさいたま市が「東日本のヒト、モノ、情報が対流する拠点」として位置付けられたことから東日本の各都市と連携を強化し、新年度から重点的に取り組みを始める東日本の交流拠点都市として成長発展するための予算となっています。なお、平成28年度予算と比べて大幅増となった要因は教職員給与の大半が県費負担（国から県に下りて、県が支払う方式）となっていた予算が直接国からさいたま市に予算配分されることに替わったことによるもので実質的な増額ではありません。

一般会計予算の審査では、新都心で開催が予定されるクリテリウムbツールドフランスについて民間化移行と予算の縮減について審議が集中しましたが、新たに自民党さいたま市議団から別れた自民党真政さいたま市議団（8名）、民進・改革（16名）、公明党（11名）等の賛成多数により可決しました。

さいたま市 2017年度一般会計予算案



一般会計予算額の推移（平成27年度～平成29年度）



三橋中央通り線の進捗状況

三橋中央通線（大宮駅西口駅前通り）は、大宮駅西口と新大宮バイパスをつなぐ幹線道路で、さいたま市の玄関口であり東日本の対流拠点の中核を成す大宮駅への重要なアクセス道路です。

3市合併（大宮市、与野市、浦和市）により中断していた工事が平成16年度から再開し、当時は平成26年度までに新大宮バイパスまで完成との予定が示されていましたが、用地買収等の遅れにより平成30年度まで延期されることとなりました。

現在の進捗状況としては、用地買収は全て完了し、上小町内の柏崎産婦人科医院から三橋2丁目の中並木交差点までの約450mが今年7月までに4車線化が完了し、三橋小学校方面に向かうアクセス道路についても同時期に完成する予定です。

新大宮バイパスまでの残り約250mについては平成30年度末までに4車線化が完了する予定となっています。

大宮西高等学校が中高一貫校としてスタートする平成31年度当初には新大宮バイパスの西側区間（一部用地買収中）についても歩道整備が進み生徒が安全に通学できる環境整備が図られる予定です。



第8回 世界盆栽大会

in さいたま

平成29年4月27日～30日開催

メイン会場 さいたまスーパーアリーナ、パレスホテル大宮
サブ会場 武蔵一宮氷川神社、大宮盆栽美術館、大宮盆栽村

大宮区役所新庁舎基本設計まとまる

大宮区役所新庁舎整備事業は平成28年6月議会の議決を経て、大成建設グループの構成員が出資する大宮クロスポイント(株)がPFI法に基づき特定事業契約を締結、平成28年6月17日～平成31年3月31日までの契約期間で、県合同庁舎の解体工事、新区役所庁舎の設計・建設工事、新庁舎の維持管理・運営を行うこととなっています。

平成28年度末で県合同庁舎の解体工事がほぼ終わり、この度、基本設計がまとまって、4月22日(土)、23日(日)に説明会が開催されることとなりました。

設計の主なコンセプトとしては、①区民に開かれた誰でも利用しやすいサービス施設と、区民供用会議室の確保、防災機能の強化、セキュリティへの配慮などを行う。②市民ニーズに応え、利用しやすい図書館とするために、歴史・文化資源や市にゆかりの文学者の資料展示、新しいサービスの展開等を目指す。③世代・目的を超えた交流が誘発される居場所づくりとして、カフェなどを配置、氷川参道の賑わいを創出させるフリースペースや展示スペースを配置する。

平成31年5月7日の開設計画を目指して建設工事が始まります。

移転案内図

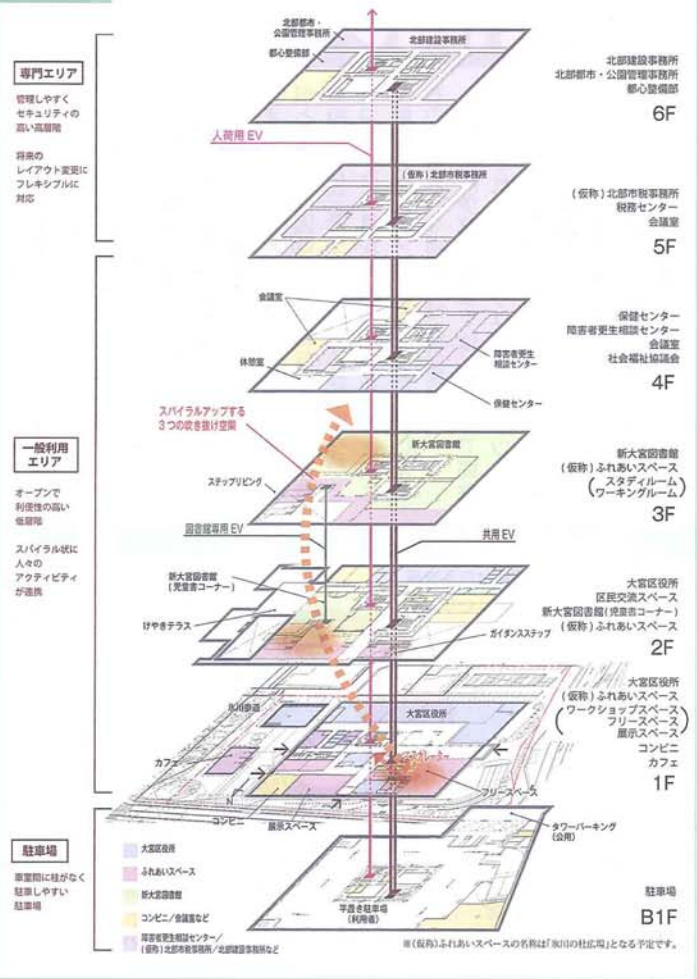


イメージ図

計画概要

| 敷地概要 | 建築概要 |
|---|--|
| 所在地:さいたま市大宮区吉敷町1丁目124番地1 敷地面積(計画敷地面積):7,606.27㎡ 用途地域:商業地域、第一種住居地域 防火地域:準防火地域 その他の地域、地区等:風致地区 景観誘導区域(全域) | 建築面積:4,271㎡ 延床面積:約23,657㎡(駐輪場等を含む) 容積対象:約18,768㎡ 構造:鉄骨造 一部 CFT造 中間免震 規模:地上6階地下1階 建物高さ GL+28.25m 用途:庁舎、図書館、駐車場 施設整備費:約105億円 |

階層構成



天沼町内都市下水路上整備始まる

平成29年度から雨水対策として調査・整備工事が行われるのは東町2丁目から大宮東中学校のグラウンド内を経由して天沼1丁目、同2丁目、大原7丁目に流下する都市下水路の一部で、平成28年8月の豪雨で冠水や床上・床下浸水が発生した区域です。今回の整備では平成29年度に調査・設計を行い、平成30年度から2年程度かけて暗渠(径2.0m)の補強工事や取付管の更新、集水溝の更新・新設を行い、最後に道路部分の舗装整備を行う予定となりました。

この通路の出入口に現在大型車両の進入を防ぐためのパ「リット」が設置されていますが、暗渠の土かぶりか30cmと浅いことから整備後も重車両を走らせることができないためパ「リット」は残ることとなります。雨水貯留管工事も完成し、今後は豪雨による被害の可能性は低くなりました。



無電柱化事業進む

国土交通省では昭和61年から3期にわたり幹線道路等の「無電柱化計画」(当初は電線類地中化計画)を進めていますが、当初は大規模な商業地域の街頭となる通りの整備を進めて来ました。最近では社会ニーズ多様化に伴い中心市街地に加えて歴史的町並み(景観)の保全や観光振興等に資する箇所でも事業を実施すると共に、震災時に電柱が倒れて道路をふさぐことをなくす防災の視点からも無電柱化事業を推進しています。さいたま市においても3市合併前から浦和・大宮等の中心市街地において無電柱化を進めて来ており、駅周辺では電柱がなくなりつつありますが、大宮区においてはさらに大宮駅から離れた下図に2区間において今年度から設計及び施工が行われます。

